

年頭所感



規格建築部会部会長
須藤 則行
コマツハウス株式会社 社長

平成 27 年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
会員の皆様には平素より規格建築部会の活動に多大の御支援、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は消費税率引き上げ、消費税率再引き上げ時期の見直しと、市場は消費税に大きく影響を受ける一年となりました。また「アベノミクス」継続の是非を問う衆院選が行われ、デフレ脱却と経済再生に向けた政府の経済政策は新たなステージに入りました。

一方、大雪、台風、局地的豪雨による災害はもとより、戦後最悪となる火山噴火による災害が発生し、災害救助法が適用された自治体は延べ 10 県に及びました。

被害者の皆様には心よりお見舞申し上げます。当部会では 8 月に発生した広島県の局地的豪雨による土砂災害発生後、最終的に建設はしていませんが、仮設住宅について被災自治体と早期の協議を開始しました。11 月には長野県北部地震において、長野県から早期の仮設住宅建設要請を受け、白馬村に 35 戸を建設し、工期通り引き渡しいたしました。今後も災害発生時には被災された方々に一刻でも早く応急仮設住宅を提供できるよう取り組んでまいります。

現在、当部会では岩手県、宮城県、福島県を中心に 8 都県に応急仮設住宅を建設し引き渡しております。東北の被災地では、復興はまだ道半ばというのが実情です。あらためて、避難を余儀なくされている皆様方のご健康を切に願うとともに、被災地の 1 日も早い復興を祈念いたします。

建設を担当した会員におかれましては、今後共、仮設住宅設置期間中の一年点検、一斉点検、修繕工事等の維持管理を適切に行うとともに、今後行われる応急仮設住宅の解体において、環境保全に十分に配慮し、解体部材のリサイクル、リユースを積極的に進め、建設廃棄物を最小限に抑えるとともに、適切な廃棄処分を行う等について、建設に際した以上の御協力をお願い申し上げます。

近年の災害は地震災害に加えて温暖化の影響と思われる台風及び集中豪雨によるものが顕著になっており、都道府県では諸々の防災に関する訓練などを通じて、災害発生時に迅速な対応を図れるよう努めておられます。

当部会では毎年都道府県が主催する防災訓練及び机上訓練に参加し、災害発生時に迅速な応急仮設住宅建設の初動体制を確立できるよう協力しております。

加えて内閣府、国土交通省及び経済産業省並びに都道府県に、応急仮設住宅の建設に関する御意見を伺う等、災害対策業務を円滑に推進するための活動も実施してまいります。

また災害対策業務の教訓を踏まえ、被災地の気候や風土に合った応急仮設住宅の仕様を検討するとともに、仮設住宅部材のリサイクル、リユース方法の調査・研究等を進め、今後の災害対策に結びつく活動をしてまいります。

本年も会員の皆様の御協力・御支援を賜り応急仮設住宅建設という分野で社会に貢献する使命を果たしてゆく所存です。最後に皆様方の一層のご発展とご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。